

平成29年度京都府障害者虐待防止・権利擁護研修 「管理者・従事者コース」を受講される皆様へ（事前課題について）

「管理者・従事者コース」の受講にあたり、「事前課題」の作成が必要となります。
事前課題は演習Ⅰ、「日常の支援を検証する」で使用する「①日常の支援の検証」シートの作成と、演習Ⅱ、「虐待防止の体制や取り組みを学ぶ」で使用する「②体制整備についての考察」シートの2点です。
作成していただいたものをもとに、グループ演習で虐待防止に向けた改善方法を考えていただきます。
下記の説明をよくお読みいただき、当日までに作成できるよう取り組んでください。（なお、すでに定期的に同様の課題に取り組んでおられるところは、その結果を踏まえて事前課題を作成・提出していただいても大丈夫です）

- 作成したシートをそれぞれ 2枚ずつ(手元資料用・講師提出用)印刷して当日お持ちください。
- シートの作成に使用した「チェックリスト」の提出は不要です。
- 様式はダウンロードしたものか、同じ内容であれば任意に作成していただいても構いません。

演習Ⅰ. 「日常の支援を検証する」

提出資料⇒「①日常の支援の検証」シート

「C：職員セルフチェックリスト」を使用した取り組みについて

1. 職員セルフチェックリストの記載→事業所内で（可能な限り多人数で）取り組んで下さい。
 2. その後、職員会議等で話し合いをして下さい。
「どんな時にできていないのか」「どんな時にできているのか」
「どんな場面にできていないのか」「どんな場面にできているのか」
「誰に対してできない（難しい）のか」
「できるためには、何が必要だろうか」
「どうすればできるか」などについて、具体的な提案を話し合ってください。
 3. 話し合いの結果をまとめて、提出に役立ててください。
- ※ 「参考様式『チェックリスト配布について』」は、事業所内で職員等へ協力を依頼する際等に必要に応じて、また事業所の実態に合わせ適宜修正して使用してください。（任意）。

演習Ⅱ. 「虐待防止の体制や取り組みを学ぶ」

提出資料⇒「②体制整備についての考察」シート

次の【作成上の留意点】をご参照ください。

【作成上の留意点】

- ①「日常の支援の検証」：シート作成については、出来る限り事業所全体（もしくは担当部署等）で支援の振り返りを行ったものを反映させてください。その際は自社製のチェックシート等を積極的に活用してください。自社製がない場合は「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」（平成29年3月厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室）P40～の「C：職員セルフチェックリスト」を活用してください。）
- ②「虐待防止の体制や取り組みを学ぶ」：シート作成については、研修参加者が考察し作成していただきますが、可能な限り他の職員の方と共同で取り組んで下さい。（作成にあたっては「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」（平成29年3月厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進室）P37～の「A：体制整備チェックリスト」を参考にして下さい。）

< I ・ II 共通 >

- 事業所で同様のものにすでに取り組んでおられるのであれば、その結果を踏まえて作成して下さい。
- 様式の細部は実態に合わせて変更していただいてもかまいません。
- 項目をたくさん並べるよりは、大切な点に絞って具体的に記して下さい。
- 個人情報の記載には十分ご注意ください。
- 昨年の研修にて、同じ課題に取り組まれた事業所につきましては、昨年に比べて「良くなったところ」「変わらない・悪化したところ」を意識して記載して下さい。

以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

書式（提出用・参考用）のダウンロードについて

京都府社会福祉協議会のホームページに様式(提出資料・参考資料)を掲載しております。

必要な方は、ダウンロードの上、ご利用ください。

◆京都府社会福祉協議会ホームページ

[http://www.kyoshakyo.or.jp/event/ Information](http://www.kyoshakyo.or.jp/event/Information) 「講座・研修・イベント情報」◆

「平成29年度障害者虐待防止・権利擁護研修 事前課題（管理者・従事者コース）について」をクリックしてください。

